

令和5年度 学校教育目標および経営方針

たつの市立龍野小学校 2023.4.3

1 本校の教育基盤と校訓

歴史と伝統、文化漂う龍野の風土、先人の遺徳、開校以来149年の本校教育の歩みに学び、三木露風作詞である校歌の歌詞に心を通わせ、「きよき心と力」を学びのめあてに、知・徳・体の調和のとれたところ豊かで自立した児童の育成をめざす。

<校訓> きよき心と力

2 学校教育目標

確かな学力と豊かな心、健やかな体の調和を図り、自ら学び、考え、判断し、表現する子どもの育成

【めざす児童像】

<心身共に健康な子：かしこく、やさしく、たくましく>

- ① 進んで考え 工夫し、表現する子（かしこい子）
- ② あたたかい心を持ち、協力する子（やさしい子）
- ③ 健康で、ねばり強い子（たくましい子）

<児童の生活のめあて> （昭和46年卒業生）
きょう、ぼく(わたし)が学校へ来たことによって、学校が一つでもよくなるように

【めざす学校像】

<人権尊重の精神に徹した、明るく、楽しい学校>

- ① 磨きあい、互いにのびる学校
- ② 活力に満ちた、健康で情操豊かな学校
- ③ 花と緑の美しい環境の整備された、潤いのある学校
- ④ 地域・保護者から信頼される、開かれた学校

【めざす教職員像】

<教育は人なり>

- ① 使命感や高い倫理観をもつ、人間性豊かな教職員
- ② 学び続け実践力の向上に努める、専門職としての教職員
- ③ 児童・保護者・地域・同僚に信頼される教職員

3 学校経営方針

- (1) 「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成を図り、「生きる力」を育む教育を進める。
- (2) 学校・家庭・地域との連携の下、危機管理意識を高め、安全で信頼される学校づくりを進める。
- (3) チーム学校としての組織力と「学びの専門家」としての資質能力の向上を図る。

4 本年度の努力事項

- (1) 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り「確かな学力」を育成するために、主体的・対話的で深い学びを実現し、創造性を伸ばす教育に取り組む。

- ◆ 思考力・判断力・表現力を育成するための、主体的・対話的で深い学びの実現（研究授業の実施、学習の見通し・振り返り活動の実施、ノート指導、学習習慣の確立等）
- ◆ ICTを活用した学習活動の充実、体系的な情報教育の推進による情報活用能力の育成
- ◆ 「ことばの力」の向上（国語科を中心に各教科等における記録、要約、説明、論述、討論等の言語活動の充実、新聞の活用、読書活動の推進等）
- ◆ 全国学力・学習状況調査結果の活用（本校児童の課題の把握・分析・授業改善）

(2) 人権教育や道徳教育を推進し、自分を大切にするとともに他者を思いやり尊重し、命や人権を大切にす「豊かな心」を育む。

- ◆人権課題や多様な価値観を認識し、人権尊重の精神を育む人権教育の研究・実践
- ◆他者や自己との「対話」による深い学びを目指す道徳教育の研究・実践
- ◆体験活動や交流を通じた「心のバリアフリー」の実現に向けた福祉教育・特別支援教育の推進

(3) 家庭や地域と連携し、児童の安全を守る取組並びに「健やかな体」を育てる健康教育・安全教育・食育を推進する。

- ◆震災の教訓を生かした危機管理・防災体制の確立（避難訓練、引き渡し訓練等）
- ◆安全指導の徹底（情報教育、防犯教室、交通安全教室、下校指導等）
- ◆養護教諭と連携した健康安全教育の推進（感染症予防の徹底、心身の健康課題の解決等）
- ◆食育を中心にした望ましい食習慣の形成や食に関する自己管理能力の育成
- ◆新体力テストの実施による体力・運動能力の正確な状況把握と結果の活用

(4) ふるさとを知り、ふるさとに学び、ふるさとを誇りに思える教育の推進とともに、体験教育や地域行事への参加を通してコミュニケーション能力の育成を図る。

- ◆郷土に対する認識を深め、先人、偉人の生き方に学ぶ教育活動の推進
- ◆キャリア形成に資する体験活動の推進とふるさと『龍野』に根ざした学習の整理・充実
- ◆地域のよさを知り、伝えるための人的資源・文化的資源・物的資源等の利用・連携・交流の推進

(5) 特別な教育支援を必要とする児童への一貫した支援・協力体制を構築する。

- ◆個別の教育支援計画、個別の指導計画の効果的な活用
- ◆教育支援委員会の充実と情報の共有
- ◆特別支援学校や関係機関との連携（副籍・教育相談等）

(6) 生活指導の充実と児童の内面理解に努め、一人一人が大切にされる学級経営を推進する。

- ◆生活指導委員会と教育相談体制の充実（SC、SSW、その他専門機関との連携）
- ◆いじめや問題行動等の未然防止、早期発見、早期対応（全教職員による見守り、相談体制の確立、生活アンケート）
- ◆基本的生活習慣の確立（「あいさつ」「あいず」「あんぜん」「あとかたづけ」「あしもと」）

(7) 教職員の資質、実践的指導力の向上・働きやすい職場環境づくりを進める。

- ◆教員研修の充実（研究授業の実施、教育機関からの講師招聘、研究会への参加）
※兵庫県教職員研修計画「兵庫県教員資質向上指標」に基づく
- ◆教職公務員としての職務と使命の自覚（豊かな人間性の涵養・服務規律の遵守）
- ◆教職員のワーク・ライフバランスの保持に配慮した効果的な業務改善と定時退勤日の完全実施・休暇制度の取得促進・協働体制の構築

(8) 地域に開かれた魅力ある学校づくり、信頼される学校づくりに努める。

- ◆学校の情報発信の充実（オープンスクール、各種便り、学校HP）
- ◆学校評議員制度や学校評価システムの効果的活用
- ◆信頼される教師集団づくり（使命感と倫理観の保持、接遇の向上）
- ◆小中一貫教育の推進、幼児教育との連携（めざす子ども像の共有、指導・支援の継続等）

実践キーワード【教育は人なり】

- 「子供は教師を見て育つ」
- 「時を守り 場をきよめ 礼を正す」
- 「凡事徹底」から「日常化」
- 「職務は厳しく、職場は温かく」